

選挙に関する世論調査 報告書

平成 27 年 7 月

大阪市選挙管理委員会

もくじ

第1章 調査の概要.....	1
(1) 調査の実施概要.....	1
1、調査の目的について.....	1
2、調査設計について.....	1
3、標本の抽出について.....	1
4、調査票の回収状況について.....	1
(2) 信頼区間の推定.....	3
(3) 回答者のおもな属性（標本の構成）.....	4
第2章 調査結果の概況.....	5
(1) “明るく正しい選挙” についての評価（Q1）.....	5
(2) 寄附禁止等の認知状況（Q2）.....	6
(3) 選挙違反の認知状況（Q3）.....	7
(4) 市議会議員選挙への関心度（Q4）.....	8
(5) 市議会議員選挙の投票状況（Q5）.....	8
(6) 棄権した主な理由（Q6）.....	9
(7) 投票した時間（Q7）.....	10
(8) 投票した主な理由（Q8）.....	11
(9) 候補者決定の時期（Q9）.....	12
(10) 候補者決定に役立った情報（Q10）.....	13
(11) 投票した人の争点・関心（Q11）.....	14
(12) 重視したのは政党か候補者個人か（Q12）.....	15
(13) 候補者個人重視の理由（Q13）.....	16
(14) 政党重視の理由（Q14）.....	17
(15) 市議会選挙で接触した活動（Q15）.....	18
(16) 臨時啓発事業の接触状況（Q16）.....	20
(17) 候補者決定の判断材料の充足度（Q17）.....	22
(18) 投票所の利便性についての評価（Q18）.....	23
(19) 開票作業に求める点（Q19）.....	23
(20) 期日前投票で利用してみたい場所（Q20）.....	24
(21) 期日前・不在者投票制度の認知・利用状況（Q21）.....	24
(22) もっとも関心を持っている選挙（Q22）.....	25
(23) これまでの投票状況（Q23）.....	25
(24) 投票義務感（Q24）.....	26
(25) 現在の政治に対する満足度（Q25）.....	27
(26) 政治不信の理由（Q26）.....	27
(27) 政党支持.....	28

支持政党の有無 (Q27-1)	28
政党支持の程度 (Q27-2)	29
(28) 後援会の加入状況.....	30
後援会加入の有無 (Q28-1)	30
後援会への勧誘の有無 (Q28-2)	31
後援会の候補者の区分 (Q28-3)	32
後援会加入の動機 (Q28-4)	33
(29) 生活満足度 (Q29)	34
(30) 自分の生活と地方政治の関係 (Q30)	34
(31) 投票に関する意識.....	35
投票が地方政治に反映するという意識 (Q31-1)	35
自分一人ぐらい投票しなくてもよいという意識 (Q31-3)	36
(32) 政治や選挙に関する知識の情報源 (Q32)	37
(33) 若年層の投票率が低い原因 (Q33)	38
(34) 今後の投票率のあり方について (Q34)	39
(35) 地方政治への関心 (Q35)	40
(36) 政治や制度への信頼.....	40
政治や制度への信頼―「選挙」 (Q36-1)	40
政治や制度への信頼―「政党」 (Q36-2)	41
政治や制度への信頼―「大阪市会」 (Q36-3)	41
(37) 政治教育について (Q37)	41
(38) 若い世代に対する啓発活動について (Q38)	42
(39) センキョンの認識度 (Q39)	43
(40) 社会属性.....	44
性別 (Q40-A)	44
年齢 (Q40-B)	44
職業 (Q40-D)	45
つながりの強いグループ (Q40-E)	45
居住形態 (Q40-F)	46
居住期間 (Q40-G)	47
大阪への愛着度 (Q40-H)	47
第3章 調査結果の分析.....	48
3-1 投票参加の状況と要因.....	48
(1) 今回の投票・投票履歴・市議会議員選挙への関心.....	48
(2) 社会属性等からみた投票参加.....	49
(3) 心理的要因からみた投票参加.....	51
(4) 組織加入からみた投票参加.....	55
(5) 情報環境からみた投票参加.....	56

(6) 投票者の行動と考え方.....	58
(7) 棄権者の行動と考え方.....	60
3-2.心理的要因.....	62
(1) 投票義務感.....	62
(2) 政治満足度.....	63
(3) 支持政党の有無および政党支持の程度.....	64
(4) 投票が地方政治に反映するという意識（有効性感覚）.....	66
(5) 関心を持つ選挙.....	68
3-3.組織への加入.....	69
(1) 後援会への加入と勧誘.....	69
3-4.情報環境.....	71
(1) 情報の充実度.....	71
3-5.選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会のとりくみ.....	74
(1) 投票時間.....	74
(2) 投票所の利便性についての評価.....	76
(3) 開票作業に求める点.....	77
(4) 期日前・不在者投票制度等の認知・利用状況.....	79
(5) 寄付禁止等・選挙違反の知識.....	80
(6) 投票率の今後.....	84
(7) センキョンの認知度.....	92
附 調査票.....	93

第1章 調査の概要

(1) 調査の実施概要

1、調査の目的について

- ・本調査は平成27年4月12日に執行された統一地方選挙において、大阪市議会議員選挙を中心に大阪市民の投票行動の実態及び選挙時に関する意識調査（以下「調査」という。）を実施し、今後の業務に役立てることを目的とする。
- ・また、本調査は、昭和54年4月8日、同58年4月10日、同62年4月12日、平成3年4月7日同7年4月9日、同11年4月11日、同15年4月13日、同19年4月8日、同23年4月10日に施行された過去9回の統一地方選挙に際して実施された調査結果と比較して、時系列での推移を明らかにすることも併せて目的としている。

2、調査設計について

①調査対象	市内居住の有権者 3,000人
②調査方法	郵送による配布・回収
③調査期間	予告はがき発送 平成27年(2015年)4月11日(土)
	調査票発送 平成27年(2015年)4月13日(月)
	催促はがき発送 平成27年(2015年)4月22日(水)
	調査票締切 平成27年(2015年)4月24日(金)
	調査票回収完了 平成27年(2015年)5月29日(金)

3、標本の抽出について

- ・選挙人名簿からの無作為二段抽出により、3,000標本を抽出する。
- ・平成26年12月2日現在における大阪市の選挙人名簿登録者数2,147,683人から、各行政区ごとに有権者数に比例して投票区数（調査地点数）および標本数を割り当てた。
 - 第一次抽出単位：投票区
各行政区に割り当てられた数の投票区を乱数表により無作為に100地点を抽出。
 - 第二次抽出単位：有権者
投票区（調査地点）ごとに、等間隔に20名ずつ抽出。
- ・各行政区ごとの標本割当計画は、次頁表1の通りである。

4、調査票の回収状況について

- ・3,000票を発送し、返送されてきた調査票は967票、うち無効票は1票、有効回収数は966票である。
- ・宛先不明で返送されてきたものは97票あり、調査票が到着したと推定される2,903票に対する有効回収率は33.3%である。
- ・全3,000票に対する回収率は32.2%と、前回の40.0%より低く、前々回の32.0%とほぼ同じとなっている。次頁表2を参照。
- ・また、次頁表3のように、電話により回収不能との連絡が15件あった。

表1 標本割当計画表

行政区	有権者数	構成比	割当地点数	割当標本数
北区	96,748	0.0450	4	120
都島区	84,075	0.0391	4	120
福島区	58,308	0.0271	3	90
此花区	55,440	0.0253	3	90
中央区	73,447	0.0342	3	90
西区	72,034	0.0335	3	90
港区	67,810	0.0316	3	90
大正区	56,081	0.0261	3	90
天王寺区	55,799	0.0260	3	90
浪速区	50,250	0.0234	2	60
西淀川区	77,255	0.0360	4	120
淀川区	142,546	0.0664	7	210
東淀川区	140,180	0.0653	6	180
東成区	62,396	0.0291	3	90
生野区	85,384	0.0398	4	120
旭区	75,804	0.0353	4	120
城東区	134,396	0.0626	6	180
鶴見区	87,321	0.0407	4	120
阿倍野区	86,920	0.0405	4	120
住之江区	102,532	0.0477	5	150
住吉区	125,499	0.0584	6	180
東住吉区	107,243	0.0499	5	150
平野区	157,856	0.0735	7	210
西成区	92,359	0.0430	4	120
計	2,147,683	1.0000	100	3,000

表2 回収状況

配布数	返送数	有効 配布数	回収数	無効数	有効 回収数	有効 回収率
3,000 票	97 票	2,903 票	967 票	1 票	966 票	33.3%

表3 回収不能の連絡内容

・当人の病気等	7 件	・高齢のため	3 件
・当人の入院	2 件	・当人の転出	1 件
・宛て先の間違い	2 件		

(2) 信頼区間の推定

- ・本調査は標本調査であるので、標本抽出における誤差等を考慮する必要がある。
- ・通常、世論調査などでは、信頼度 95% (同一の調査を 100 回行えば 95 回まではこの結果になるであろうという推定) のレベルを求めるのが一般的であり、これに基づく標本推定値の標本誤差の近似値は、次の公式で求められる。

標本誤差 = ±1.96	$\sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$	N = 2,147,683 (母集団数) n = 966 (有効回収調査票数) P = 回答の比率 (標本測定値)
--------------	--	---

表 4 信頼度 95%における主要な%の信頼区間

回答の比率	95	90	85	80	75	70	65	60	55	50
	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
誤差	±1.69	±2.32	±2.77	±3.10	±3.35	±3.55	±3.69	±3.79	±3.85	±3.87

(単位：%)

【標本誤差の見方】

- ・例えば、ある質問で、全体の回答が 80%であった場合、80%を中心に±3.1%、つまり、真の値は 76.9%から 83.1%の間にあると推定してよいが、その推定の正しい確率は 95%程度である。
- ・また、上記の表は、回答の比率を 5%刻みで表示しているが、回答が 78%のように途中である場合は、上記の表から最も近い 80%における数値を読み取り、この数値から類推し使用すればよい。

(3) 回答者のおもな属性（標本の構成）

全体(966票)		N	%	全体(966票)		N	%	
性別	男性	448	46.4%	居住期間別	生まれてからずっと住んでいる	350	36.2%	
	女性	479	49.6%		10年以上、住んでいる	480	49.7%	
	不明	39	4.0%		5年以上10年未満、住んでいる	47	4.9%	
年齢別	20～24歳	20	2.1%		3年以上5年未満、住んでいる	28	2.9%	
	25～29歳	40	4.1%		3年未満、住んでいる	28	2.9%	
	30～39歳	85	8.8%		不明	33	3.4%	
	40～49歳	133	13.8%		愛着度別	非常に愛着をもっている	521	53.9%
	50～59歳	161	16.7%			ある程度愛着をもっている	337	34.9%
	60～69歳	223	23.1%	どちらともいえない		55	5.7%	
	70歳以上	268	27.7%	あまり愛着をもっていない		19	2.0%	
	不明	36	3.7%	まったく愛着をもっていない		2	0.2%	
職業別	自営業主およびその家族従事者	159	16.5%	不明	32	3.3%		
	公務員、教員	25	2.6%	つながりの強いグループ別	町内会	285	29.5%	
	民間会社勤務・事務	126	13.0%		女性団体	33	3.4%	
	民間会社勤務・現業	69	7.1%		老人会(老人クラブ)	74	7.7%	
	民間会社勤務・管理職	49	5.1%		青年会	5	0.5%	
	医師、弁護士などの自由業者	43	4.5%		趣味のグループ	149	15.4%	
	その他の由業者	62	6.4%		スポーツのグループ	96	9.9%	
	学生	7	0.7%		旅行などレクリエーションのグループ	31	3.2%	
	無職	378	39.1%		労働組合	24	2.5%	
	不明	48	5.0%		職場のサークル	20	2.1%	
居住形態別	持ち家(一戸建)	438	45.3%		同業団体・商店会など業者団体	33	3.4%	
	持ち家(マンション等)	158	16.4%	宗教団体	69	7.1%		
	賃貸(公営、公団等)	103	10.7%	政治団体	9	0.9%		
	賃貸(民間)	207	21.4%	学術団体・文化団体	18	1.9%		
	社宅・寮等	6	0.6%	消費者団体	2	0.2%		
	その他	16	1.7%	社会事業団体	21	2.2%		
	不明	38	3.9%	その他	29	3.0%		
				とくにかかわりをもつ団体などはない	405	41.9%		
			不明	54	5.6%			